

# ネットワークスペシャリスト 本試験問題集(令和3年度春期) 訂正表

下記の通り訂正がございます。

ご迷惑をおかけして、誠に申し訳ございません。

## 160 ページ 設問 6(2) の 3 行目

(誤) 172. 16. 101. 0/24, 172. 16. 102. 0/24, 172. 16. 103. 0/24

↓

(正) 172. 17. 101. 0/24, 172. 17. 102. 0/24, 172. 17. 103. 0/24

## 160, 161 ページ 設問 6(3) の全面差替え

図 4 の直後の問題文に「ステップ 1 完了時のネットワーク構成の概要は次のとおりである」とあり、表 7 の直後の問題文に「次に、J 主任は、ステップ 3 の現行の社内システムから新社内システムへの切替作業について検討した」とあることから、図 4 以降表 7 までは、表 4 のステップ 2 の作業を行うための作業や設定であると考えられる。ステップ 2 では、現行の社内システムの PC から新公開 Web サーバの動作確認を行っている。設問 6(2) の解説で述べたように、現行社内 PC と新公開 Web サーバは別セグメントに属し、この間の通信で経由する L3SW1 とスタック L3SW ではルーティングが行われる。そのための静的経路情報が表 6 や表 7 に含まれていると判断できる。

下線⑧より、新公開 Web サーバには、172. 16. 254. 0/24 のうち未使用の IP アドレスが割り当てられるので、表 6 や表 7 の

宛先ネットワークアドレス : 172. 16. 254. 128

サブネットマスク : 255. 255. 255. 128

が新公開 Web サーバへアクセスするために追加された静的経路情報であると考えられる。したがって、この宛先に該当する、172. 16. 254. 128~172. 16. 254. 254 が新公開 Web サーバの利用できる IP アドレスの範囲ということになる。

なお、172. 16. 254. 2~172. 16. 254. 9, 172. 16. 254. 101~172. 16. 254. 127 も未使用であるが、前記の宛先ネットワークに含まれないので、新公開 Web サーバの IP アドレスとして利用できない。また、172. 16. 254. 255 はブロードキャストアドレスなので利用できない。